



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日
上場取引所 札

上場会社名 日本グランデ株式会社
コード番号 2976 URL <https://www.nippon-grande.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 平野 雅博
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 矢代 俊二 (TEL) 011-211-8124
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

		売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期		百万円 3,033	% 57.6	百万円 158	% —	百万円 136	% —	百万円 92	% —
2025年3月期第3四半期		1,924	△28.1	△72	—	△95	—	△47	—
(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 92百万円(-%) 2025年3月期第3四半期 △48百万円(-%)									

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	68.78	—	—
2025年3月期第3四半期	△35.48	—	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 4,773	百万円 2,012	% 42.2
2025年3月期	5,690	1,920	33.7
(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,012百万円		2025年3月期 1,920百万円	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益		
通期	百万円 3,415	% 27.0	百万円 130	% —	百万円 72	% —	円 銭 53.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一 社 (社名) 、除外 一 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	1,343,600株	2025年3月期	1,343,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	一株	2025年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	1,343,600株	2025年3月期3Q	1,343,600株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、所得環境の改善や企業業績の回復による堅調な設備投資を背景に、足踏み感がみられるものの、総じて緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策による国内需要の鈍化や物価上昇を背景とした個人消費の停滞、金融政策を巡る不確実性など、先行きの不透明感が続いております。

当社グループが属する不動産業界におきましては、札幌市の新築分譲マンション市場は、エリア間での選別が進み、特に都心部や利便性の高いエリアへの中心部指向が強まってきております。また、土地価格や建築コストの上昇に伴い販売価格も上昇し高止まりの状態で推移しており、政策金利の段階的な引き上げによる先行きへの影響等引き続き懸念される状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、不動産分譲事業の新築分譲マンション及び新築分譲戸建住宅の販売、買取再販、媒介・仲介、事業用土地の売却、リフォーム受注等各施策を強化し取り組むとともに、分譲マンション及び分譲戸建住宅の新規開発にも取り組んでまいりました。

これらの状況により、当社グループの主力事業であります不動産分譲事業におきましては、当第3四半期連結累計期間において、新築では分譲マンション43戸及び分譲戸建住宅2戸の引渡、前期繰越在庫では分譲マンション10戸の引渡となり、総引渡戸数は55戸(前年同期比23戸増)となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,033,071千円(前年同期比57.6%増)、営業利益は158,328千円(前年同期は72,706千円の営業損失)、経常利益は136,002千円(前年同期は95,329千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は92,414千円(前年同期は47,677千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(不動産分譲事業)

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション事業におきましては、新築分譲マンション1物件「グランフアーレ平岸パークヒルズ」を竣工し43戸の引渡を完了したほか、前期繰越在庫10戸の引渡を含めた53戸(前年同期比23戸増)の引渡を行っております。なお、前期繰越在庫につきましては、販売を継続しております。

分譲戸建住宅事業におきましては、新築分譲戸建住宅「ラ・レジーナ新さっぽろ」2戸(前年同期比変動なし)の引渡を行っております。また、第4四半期連結会計期間に竣工予定の「ラ・レジーナ札幌」につきましては、完売しております。なお、当第3四半期連結会計期間に「ラ・レジーナ北21条」の販売を開始いたしました。

当第3四半期連結累計期間における分譲マンション及び分譲戸建住宅の引渡戸数は55戸(前年同期比23戸増)、売上高は1,896,450千円(前年同期比49.8%増)となりました。

その他の売上高は552,413千円(前年同期比603.9%増)となりました。主な増加の要因は、当第3四半期連結会計期間において、販売用不動産土地を売却したためであります。

この結果、不動産分譲事業の売上高は2,448,864千円(前年同期比82.1%増)となり、セグメント利益は133,489千円(前年同期は95,823千円のセグメント損失)となりました。

(不動産賃貸事業)

当第3四半期連結累計期間におけるサービス付き高齢者向け住宅事業におきましては、賃貸料収入は263,013千円(前年同期比0.6%減)となりました。

収益不動産の賃貸事業におきましては、賃貸料収入は51,443千円(前年同期比2.6%増)となりました。

その他として、サービス付き高齢者向け住宅支援サービス事業等による売上高は140,257千円(前年同期比3.6%増)となりました。

この結果、不動産賃貸事業の売上高は454,714千円(前年同期比1.0%増)となり、セグメント利益は149,958千円(前年同期比4.1%減)となりました。

(不動産関連事業)

当第3四半期連結累計期間におけるマンション管理事業におきましては、分譲マンションの管理棟数が増加したこと等により、売上高は105,855千円(前年同期比5.2%増)となりました。

その他の売上高は、23,636千円(前年同期比19.5%減)となりました。

この結果、不動産関連事業の売上高は129,492千円(前年同期比0.4%減)となり、セグメント利益は13,746千円(前年同期比32.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,841,332千円となり、前連結会計年度末に比べて886,604千円減少いたしました。これは主に、販売用不動産が408,330千円、仕掛販売用不動産が816,922千円、未収還付法人税等が8,255千円それぞれ減少した一方、現金及び預金が324,167千円、未収入金が10,268千円増加したことによるものであります。

固定資産は2,928,917千円となり、前連結会計年度末に比べて29,786千円減少いたしました。これは主に、有形固定資産が26,716千円減少したことによるものであります。

繰延資産は3,089千円となり、前連結会計年度末に比べて678千円減少いたしました。これは社債発行費が678千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は4,773,340千円となり、前連結会計年度末に比べて917,069千円減少いたしました。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は705,664千円となり、前連結会計年度末に比べて802,096千円減少いたしました。これは主に、買掛金及び工事未払金が431,481千円、短期借入金が372,200千円、預り金が15,083千円、契約負債が51,811千円それぞれ減少した一方、1年内返済予定の長期借入金が9,835千円、未払法人税等が36,293千円、未払消費税等が23,897千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,054,697千円となり、前連結会計年度末に比べて207,587千円減少いたしました。これは主に、社債が50,000千円、長期借入金が157,521千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,760,361千円となり、前連結会計年度末に比べて1,009,684千円減少いたしました。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,012,978千円となり、前連結会計年度末に比べて92,614千円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益92,414千円の計上に伴い、利益剰余金が92,414千円増加したことによるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は42.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」(2025年5月14日)で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	604, 303	928, 471
売掛金及び契約資産	24, 773	25, 437
販売用不動産	782, 764	374, 433
仕掛販売用不動産	1, 242, 452	425, 529
その他の棚卸資産	2, 937	5, 328
その他	70, 706	82, 132
流动資産合計	2, 727, 937	1, 841, 332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2, 125, 767	2, 085, 072
土地	767, 893	783, 497
その他（純額）	12, 193	10, 567
有形固定資産合計	2, 905, 854	2, 879, 137
無形固定資産	4, 714	3, 205
投資その他の資産	48, 136	46, 575
固定資産合計	2, 958, 704	2, 928, 917
繰延資産		
社債発行費	3, 767	3, 089
繰延資産合計	3, 767	3, 089
資産合計	5, 690, 409	4, 773, 340

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金及び工事未払金	465, 875	34, 393
短期借入金	572, 200	200, 000
1年内返済予定の長期借入金	210, 664	220, 499
1年内償還予定の社債	50, 000	50, 000
未払法人税等	12, 398	48, 691
賞与引当金	5, 741	1, 643
株主優待引当金	3, 182	166
預り金	32, 612	17, 529
その他	155, 087	132, 740
流動負債合計	1, 507, 761	705, 664
固定負債		
社債	175, 000	125, 000
長期借入金	1, 993, 587	1, 836, 066
その他	93, 698	93, 631
固定負債合計	2, 262, 285	2, 054, 697
負債合計	3, 770, 046	2, 760, 361
純資産の部		
株主資本		
資本金	182, 726	182, 726
資本剰余金	82, 726	82, 726
利益剰余金	1, 652, 993	1, 745, 407
株主資本合計	1, 918, 445	2, 010, 859
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1, 918	2, 118
その他の包括利益累計額合計	1, 918	2, 118
純資産合計	1, 920, 363	2, 012, 978
負債純資産合計	5, 690, 409	4, 773, 340

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位:千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,924,916	3,033,071
売上原価	1,586,921	2,539,136
売上総利益	337,995	493,935
販売費及び一般管理費	410,702	335,607
営業利益又は営業損失(△)	△72,706	158,328
営業外収益		
受取利息及び配当金	182	725
受取手数料	757	1,433
金利スワップ評価益	730	—
違約金収入	2,694	1,413
その他	4,485	4,518
営業外収益合計	8,851	8,090
営業外費用		
支払利息	25,576	25,886
社債利息	925	1,572
金利スワップ評価損	—	160
その他	4,972	2,797
営業外費用合計	31,474	30,416
経常利益又は経常損失(△)	△95,329	136,002
特別利益		
保険解約返戻金	51,996	—
特別利益合計	51,996	—
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△43,332	136,002
法人税等	4,344	43,588
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,677	92,414
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△47,677	92,414

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△47,677	92,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,277	200
その他の包括利益合計	△1,277	200
四半期包括利益	△48,954	92,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△48,954	92,614

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

(販売用不動産から有形固定資産への振替)

当第3四半期連結累計期間において、所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替えております。その内容は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
建物及び構築物	一千円	23,842千円
土地	—	15,603
計	—	39,446

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高					—	—
(1) 外部顧客への売上高	1,344,822	450,063	130,030	1,924,916	—	1,924,916
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	12,528	12,528	△12,528	—
計	1,344,822	450,063	142,559	1,937,445	△12,528	1,924,916
セグメント利益又は損失 (△)	△95,823	156,423	20,431	81,031	△153,737	△72,706

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△153,737千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 分譲事業	不動産 賃貸事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,448,864	454,714	129,492	3,033,071	—	3,033,071
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	11,885	11,885	△11,885	—
計	2,448,864	454,714	141,377	3,044,956	△11,885	3,033,071
セグメント利益	133,489	149,958	13,746	297,194	△138,865	158,328

(注) 1. セグメント利益の調整額△138,865千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	68,965千円	67,887千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要な事象等

地価及び建築コストの高騰に伴うマンション及び戸建住宅の販売価格の上昇、並びに物価上昇によるお客様の購買意欲の低下等により、販売に影響がでております。このままの状況が継続した場合には、取引金融機関からのプロジェクト資金の返済や建築代金の支払等、資金繰りに影響がでる可能性が認められることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しております。

当社グループは、当該状況の解消に向け、新規顧客の開拓及び最適な販売アプローチの採用により集客活動を強化し、不動産分譲事業における販売促進に取り組んでまいりましたが、当第3四半期連結会計期間末日現在までに当該状況の解消には至っておりません。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間の成約は順調に推移しており、新築分譲マンション及び新築分譲戸建住宅の売上も計画どおりに計上されております。また、取引金融機関からも引き続きご支援をいただいている状況であることから、当面の資金繰りに懸念はありません。

これらの状況を総合的に勘案し、当第3四半期連結会計期間末日現在において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。